

2023 年度 工学院大学学科連合委員会 総括

工学院大学学科連合委員会

委員長 森田遼太郎



1. 組織構成

工学院大学学科連合委員会は新宿キャンパスに本部、八王子キャンパスに支部を置いて活動した。昨年度は、3年生7人、2年生7人、1年生が1人の合計15人で構成され、会計局、渉内局、渉外局、企画局、広報局、資材局、オリター・アンケート局の7つの局に配属して活動を行った。

2. 方針

工学院大学学科連合委員会は下記の目的を達成するため、支部と本部関係なく、委員それぞれが持つ考えを受け入れ、尊重し合いながら活動を行った。これを2023年度の活動方針とした。

3. 目的

工学院大学学科連合委員会は、各学科の学生からの要望を集め、各団体や本学に反映させ、本会の企画や活動を通して学生間の交流を促し、知識・見聞を深めさせることで本学学生の学生生活を改善することを目的とし、活動を行う。また、学園の広報並びに本学の発展に寄与することも目的とする。

4. 活動内容

A) アンケート活動

アンケート活動は本学学生の要望を集めるものであり、本会の目的を達成するために実施すべき活動である。八王子、新宿の両キャンパスで本学学生、学園祭の来場者を対象とした様々なアンケートを実施した。また、アンケート結果の一部を他団体にも共有を行い、本学の発展へと繋げた。

B) 前期企画

今年度も新宿、八王子の両キャンパスで、学生間の交流を促し、今後の学生生活の改善と向上を目的とした。八王子キャンパスでは、体育館を使い、スポーツ大会を行った。共に体を動かすことで団結力、協調性を高め、参加者同士の交流の促進を図った。新宿キャンパスではアトリウムを使用し、掲示板を用いた企画を行った。本学学生が抱える悩みや不安を共有できる場を提供し、交友関係の拡大を図った。新企画も開催ができ、今後の前期企画としての基盤を構築した。

C) 後期企画

八王子キャンパスでのみ行った。既知や未知問わず多くの学生に楽しい時間を過ごしてもらうことを目的とし、八王子キャンパス食堂を使用してビンゴ企画を運営した。ビンゴ企画中にゲームを取り入れることで、参加者同士の交流を図った。また、テーマに沿った装飾、演出、衣装を施すことで食堂にてひとつの世界観を表現し、参加者全員が楽しめる企画を作り上げた。

D) 大抽選会

新宿祭にて行った。来場者に新宿祭に対してのアンケートに回答して頂き、抽選で御礼品として協賛品または景品をお渡しした。より多くの方に回答して頂くため、対面形式だけでなく、web上でも実施し、多くの回答を得ることができた。アンケート結果を本会だけでなく他団体にも共有を行い、来年度以降の本会並びに学園祭の発展に繋げた。

E) 学園祭への参加

プレ八王子祭、八王子祭、新宿祭に参加した。ステージ企画、模擬店、教室展示で参加をし、テーマに沿ったものを作り上げ学園祭の活性化に貢献すると共に、学園祭への協力を行った。また、来場者に対してアンケートを実施し、学園祭の満足度並びに改善点を明確化し、来年度以降の学園祭の発展に寄与した。

F) 他大学との交流

本会の渉外局を主体として他大学との交流を行った。企画内や学園祭だけでなく、交流会なども主催及び参加をし、他大学との交流や意見交換をする場を設けた。そこで、本学にはない特色等を習得することで更なる本学への発展や広報活動へと繋げた。また、今年度も他大学の学園祭案内に参加することで他大学の活動をより間近に体験し、本学並びに本会に反映を行った。今年度はさらなる関係性構築を行い、他大学との関係性をより濃いものへと変化させた。

5. 総括

2023年度は例年通りに近い活動を行うことができた。その中で今後の本会の発展と存続のために試行錯誤を行った年度となった。来年度以降も本会の目的を達成するために質の高い企画や活動を通して、さらなる本会の発展を目指していく。以上を2023年度の総括とする。